

令和2年度事業報告

1. 概要

当センターは、これまで、会員の皆様や市当局、関係団体等のご理解、ご支援をいただきながら、シルバー事業の運営に取り組んできております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな影響がありましたが、引き続き国の補助事業である高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等を活用する中、各種事業に積極的に取り組んだ結果、コロナ禍においても他都市に類を見ない順調な事業運営ができました。

令和2年度の実績は、年度末の会員数が、随時入会受付や出前入会案内会を実施したことなどにより過去最高の4,229人、前年度比較148人の増となりました。

契約金額については、受託業務は、契約金額1,023,613,700円 前年度比較25,526,458円、2.6%の増、派遣業務は、契約金額ベースで670,251,602円 前年度比較20,528,853円、3.2%の増となり、合計で1,693,865,302円 前年度比較46,055,311円、2.8%の増といずれも過去最高の実績となりました。

契約件数では、受託業務と派遣業務合計で、29,713件 前年度比較163件の減となりましたが、受託業務の配分金と派遣業務の賃金等の合計では1,383,818,949円、前年度比較 26,539,033円、2.0%の増となっております。

派遣業務の就業実人員を加えた就業率については、80.3%となりました。

主な実施事業は次のとおりです。

(1) 就業開拓及び就業率の向上

- ① 就業推進グループを2人増員し、事業所や一般家庭への就業開拓を行うとともに、グループ等の契約目標額を定め、毎月その進行管理を行いました。

・派遣就業契約件数 4,575件
・派遣就業延人員 144,653人

- ② 総務課、業務推進課、生活・就労支援センター、会員困りごと相談窓口、ジョブコーディネーター間の連携を図り、就業拡大に努めました。

- ③ 繁忙期作業の平準化及びリピーター対策として、剪定、草刈等に新たに生活支援、屋内清掃を加えた既発注者に対し、発注のお礼と受注依頼文書を送付し、先行予約による受注拡大を図りました。

送付件数 773件 予約依頼件数 210件

- ④ センターへの仕事の発注が期待される企業・法人等に対し、発注依頼文書を送付し、連絡があった企業等を訪問するなど重点的な就業開拓を行いました。

8月 ・商工会議所（アイム）の広報チラシ折込み（6,200件）

9月 ・不動産関係（488件）

10月 ・保育園・認定こども園（137件）

12月 ・有料老人ホーム（128件）

2月 ・福祉用具貸与業者（43件）

3月 ・印刷業者（100件）、居宅介護支援事業所（192件）

- ⑤ サービスの質の向上を図るため、剪定、草刈、草取、生活支援を対象に、顧客満足度調査を実施しました。
- ・送付件数 500件 回答件数 259件
- ⑥ 日常生活のちょっとした困りごと解決に対応する担い手として、地域に貢献し、頼れる「まちのシルバーたすかへる隊」を設置しました。
- ⑦ 国の補助事業を活用し、民生委員・児童委員等との連携による地域に根差した生活支援サービスを提供するため、「ふれ愛 たすけ愛 地域困り事応援事業」を実施し、サービスの担い手となる会員を養成するための研修会等を開催しました。
- ⑧ 鹿児島市と連携し、市内の空き家の管理、墓掃除等のサービス提供を実施しました。
- ・市外からの受注実績

空き家管理（剪定、草取り等含む）	656件	14,987,048円
墓守・墓掃除	133件	1,335,213円
- ⑨ 新規の就業開拓を行った会員へ就業開拓報奨金を交付しました。
- ・報奨金交付実績 59件
- ⑩ ジョブコーディネーターを常時配置し、未就業者等への就業案内や入会希望者へきめ細かい説明を行うなど、未就業者対策の強化及び新規入会の促進に努めました。
- ⑪ ホームページを週1回更新し、常に新たな就業情報の提供に努めたほか、入会説明会終了時、入会手続きされた方に就業案内を行うなど、就業率の向上に努めました。
- ⑫ お客様からの注文受付が24時間365日可能なインターネット申込「たすかへる」事業を行いました。
- ・受付件数 142件
- ⑬ 鹿児島市の指定管理者として、「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、「すこやかランド石坂の里」及び「さくらじま白浜温泉センター」については、それぞれ施設の適正管理に努めました。
- なお、「さくらじま白浜温泉センター」については、令和3年度から7年度までの指定管理者募集に応募し、次期指定管理者として指定を受けました。
- ⑭ 就業開拓にあたっては、既発注者の掘り起こしや会員の希望の多い職種等を強化するとともに、就業会員による就業先でのチラシ配布など、センター事業のPRに努めました。

(2) 会員の拡大及び資質の向上

- ① 出前入会案内会を吉野、谷山地区で開催し、会員の加入促進及び就業案内に努めました。

	開催日	場 所	参加者	入会者
吉 野	2 . 10 . 29	北部保健センター	17人	5人
谷 山	3 . 2 . 18	谷山市民会館	17人	11人

- ② 毎週水曜日に就業推進グループ等が「ハローワークかごしま」を訪問し、来訪者への会員勧誘を行うなど、積極的に会員拡大を図りました。
- ③ 会員拡大、就業拡大を図るため、シルバー広報用チラシを作成し、7月、11月、2月に南日本新聞で折り込み広告を行い、市内全域に配布しました。
- ④ 出前入会説明会を3回開催し、入会手続きや就業相談を行うなど、入会促進を図りました。

・出前入会説明会の開催状況（開催場所：勤労者交流センター）

	開催日	参加者	入会者
第1回	2 . 6 . 27	32人	24人
第2回	2 . 8 . 29	26人	19人
第3回	2 . 11 . 21	21人	14人
合 計		79人	57人

- ⑤ 県連合会が受託している高齢者活躍人材確保育成事業を活用した各種講座会場に出向き、市民への積極的な入会促進を図るとともに、既存会員に対する就業相談を行いました。

講習内容	開催月	修了者	入会者
高齢者健康調理講習	7月	10人	5人
清掃スタッフ講習	8月	10人	5人
宛名・賞状記名講習	8月、9月、11月	44人	17人
店舗スタッフ講習	9月	11人	4人
剪定・整枝講習	9月、2月	33人	15人
子育て支援講習	9月、10月	28人	9人
草刈り（機械刈）講習	10月	14人	8人
簡単なDIY講習	11月	15人	1人
暮らしに役立つ掃除講習	12月	13人	7人

合 計 178人（未入会者137人） 71人

- ⑥ 8月から9月を「入会促進キャンペーン月間」とし、積極的な広報活動を行ったほか、この期間に入会した方へ粗品をプレゼントするなど入会促進を図りました。
また、入会者が減少する1月以降についても、会費の減免措置等を行うなど入会促進を図り、早期の就業につなげる取組みを行いました。
- ・ 8～9月入会者 113人
 - ・ 1～2月入会者 95人
 - ・ 3月入会者 89人
- ⑦ 女性限定入会説明会を開催し、女性会員向けの就業案内や女性会員の活動・アンテナショップ「おじゃったもんせ」・ひまわり劇団等の紹介をはじめ、会員による手作り講座で参加者自身の作品をプレゼントするなど、女性会員の入会促進に努めました。
- ・開催日 令和3年1月28日（木）
 - ・開催場所 シルバー人材センター 大会議室
 - ・参加者 20人
 - ・入会者 16人
- ⑧ 支部限定のチラシを作成し、会員が就業先や年金支給日に金融機関前で配布するなど、支部会員の拡大に努めました。
- ⑨ 鹿児島市役所「生活・就労支援センターかごしま」内の当センター常設窓口で入会相談等を行いました。
- ・相談受付件数 466件
- ⑩ 入会説明会、高齢者活躍人材育成事業講習会等において、入会に至らなかった方をシニアパートナーとして登録し、情報発信等を通して入会促進を図るとともに、就業を希望しない会員については、互助会や地域活動に参加できるプラチナ会員制度の周知に努めました。
- ・シニアパートナー登録者数 24人 その内入会者数 6人
 - ・プラチナ会員登録者数 18人
- ⑪ 県アクティブシニア協議会が主催したセミナーにおいて、当センターのブースを設置し、参加者等へ事業案内及び入会等に係る説明を行ったほか、引き続き会員による入会促進を図るため正会員入会報奨金を交付しました。
- ・交付実績 13件
- ⑫ 会員の技能向上を図るため各種研修会を実施しました。
- ⑬ 派遣会員と事務局との意見交換会を開催し、就業先の環境等の情報共有を図りました。

(3) 適正就業の推進

- ① 令和2年度も「ゆずりあう 心・笑顔の適正就業」をスローガンに、法令遵守はもとより「適正就業に関する基準運用方針」に基づき適正就業の推進に努めました。
- ② 「適正就業に関する基準運用方針」に、適用職種を明確にするため、新たに施設管理・施設清掃・駐車場管理を加えるとともに、職群班を正式名称に変更しました。
- ③ 職群班である駐輪・駐車班、公園清掃、墓地清掃、運搬班を通じ適正就業の意識が会員へ広く浸透するよう周知を図るとともに、会員の募集にあたっては、募集要項をホームページや庁舎内に掲示したほか、ジョブコーディネーター及び生活・就労支援センターを活用して、多くの会員への周知を図りました。

(4) 事業推進体制の強化

- ① 業務量の増加に伴い、就業推進グループ職員を2人増員しました。
- ② 有期雇用職員2人を無期雇用職員へ転換しました。
- ③ 会員の就業相談体制（マッチング）の強化を図るため、未就業者等へのきめ細かな対応を目的とした担当者制を実施しました。
- ④ 就業開拓や事務局での電話対応、電算入力業務など、事務量の増加等に対応するため、積極的な会員活用を図りました。
- ⑤ 専門委員会や地域班会等の費用弁償等を見直しました。
 - ・専門委員会等の費用弁償 2,000円 → 2,500円
 - ・地域班会等の会議出席助成金 200円 → 300円
- ⑥ 支部の活性化を図るため、支部長会議の開催や支部長手当を新設（月額3,000円）しました。
- ⑦ 最低賃金の見直しに伴い、令和2年10月から賃金（派遣）の改定を行いました。
- ⑧ センターの事業運営の概況等について、地域班会等で会員へ情報提供しました。
- ⑨ 全シ事業協会、九シ連絡協議会、県シ連合会等の研修会等に役員、職員がオンライン等で参加しました。
- ⑩ 職群班の相互の連携及び情報共有を図るため、職群班統括班長会議を開催しました。
- ⑪ 令和3年度に設立40周年記念事業を実施するため実行委員会（総務部会、編集部会）を設置し、記念式典の開催等に向け検討を行いました。

(5) 安全就業の推進

- ① 毎月1日の「安全就業宣言の日」に、事故事例や交通安全の注意喚起及び季節ごとの健康に関する情報等を掲載した「安全ニュース」を発行し、会員の安全就業に対する意識の啓発を行いました。
- ② 安全就業推進委員会を開催し、発生事故の原因解明や再発防止策の検討を行ったほか、賠償事故については、「会員の事故防止に資するための措置要領」に基づき、当該会員へ文書注意等の処置を行いました。
- ③ 安全就業の推進を図るため、安全就業推進委員会の委員及び職員による予告なしの安全パトロールを実施し、機械、器具等の使用上の注意や現場での留意事項について指導を行うなど事故の未然防止に努めました。
 - ・安全パトロール実施時期等 7月～12月 20回
- ④ 草刈作業における飛び石事故防止のため、両刃回転式刈払機「カルマー機」の使用を推奨しました。
- ⑤ 派遣の労働災害事故増加に対処するため、事故事例を中心とした「派遣ニュース」を年2回発行し、派遣就業会員に配付しました。
 - また、外部講師による業種別の安全講習会を開催し、会員の安全就業に対する意識の啓発を行いました。
 - ・「安全ニュース」 発行数 9月と3月に1,800枚発行
 - ・安全講習会 参加者数 年13回で315人参加
- ⑥ 派遣会員の安全と健康を保持するために衛生委員会を設置し、労働災害事故の検証等を行いました。
 - ・開催日 12月17日、3月11日 計 2回
- ⑦ 高齢者による交通事故が増加傾向にあることから、派遣の運転業務に係る会員の運転適正検査を義務化し、実施しました。
- ⑧ 職群班及び各支部、合同班会等において、事故の発生状況等を報告するとともに、安全講習会を開催しました。
 - ・参加者数 職群 565人、支部 120人 計 685人
- ⑨ 安全意識の高揚につなげるための安全就業に関する標語募集に31点の応募があり、最優秀賞等の作品を選定するとともに、標語については、事務所内に掲げるなど会員、職員の安全就業に対する意識啓発に活用しました。
- ⑩ これらの対策を講じましたが、令和2年度の発生事故は、傷害、賠償事故合わせて受託事業が44件、派遣事業が28件となり、前年度に比べ34件増加しました。

・事故の発生状況（年度別推移）

（単位：件）

年度別		29年度	30年度	元年度	2年度	対前年増減
受託	傷害	17	13	12	22	10
	賠償	12	16	15	22	7
	計	29	29	27	44	17
派遣	傷害	8	18	7	17	10
	賠償	3	4	4	11	7
	計	11	22	11	28	17
計	傷害	25	31	19	39	20
	賠償	15	20	19	33	14
	合計	40	51	38	72	34

・令和2年度 月別事故発生状況

（単位：件）

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受託	傷害	0	1	2	1	2	4	2	3	1	0	2	4	22
	賠償	1	2	0	6	1	2	2	1	4	1	2	0	22
	計	1	3	2	7	3	6	4	4	5	1	4	4	44
派遣	傷害	3	3	0	1	1	3	0	0	2	0	1	3	17
	賠償	0	0	0	2	0	1	0	1	0	4	0	3	11
	計	3	3	0	3	1	4	0	1	2	4	1	6	28
計	傷害	3	4	2	2	3	7	2	3	3	0	3	7	39
	賠償	1	2	0	8	1	3	2	2	4	5	2	3	33
	合計	4	6	2	10	4	10	4	5	7	5	5	10	72

・事故の内訳

【傷害事故の内訳】

（単位：件）

区分	骨折	裂傷	熱中症	打撲	その他	計
受託	9	7	3	0	3	22
派遣	3	1	1	1	11	17
合計	12	8	4	1	14	39

【賠償事故の内訳】

（単位：件）

区分	草刈(飛石)	草刈(接触)	剪定(接触)	車両(物損)	その他	計
受託	11	3	2	1	5	22
派遣	0	0	0	1	10	11
合計	11	3	2	2	15	33

(6) 独自事業の推進

- ① 「ワンコインまごころサービス」については、市の支援を受けながら、高齢者世帯のごみ出し等のサービスを実施しました。

延利用回数（年間）

- ・100円 9,763回
- ・500円 351回

- ② アンテナショップ「おじゃったもんせ」では、会員手作りの野菜や手芸品及び賛助会員の特産品等の販売を行いました。

また、売上を伸ばすため、指定管理先である「さくらじま白浜温泉センター」において、出張販売を行いました。

- ・総売上額 2,656,082円

- ③ 会員の健康保持を図るため、市場価格より廉価で購入できる家庭常備薬等の斡旋販売を行いました。

- ・斡旋販売額 511,250円

- ④ 年末物品販売については、毎年恒例の会員手づくりの桜島小みかんや米など多数の商品や、賛助会員からのギフト商品販売のほか、センターワークプラザで新鮮野菜等の当日販売も行いました。

- ・販売商品数 28品目
- ・販売額 536,040円
- ・当日販売額 71,900円

- ⑤ 桜島フェリーターミナル内の「ほほえみサロン」では、センターの情報発信の場として、市民、会員向けの講座を開催するとともに、会員が抱えているトラブルや不安の解消を目的とした「会員困り事相談窓口」を月1回開設し、会員からの相談を受けました。

- ・講座開催 10回開催 67人参加
- ・困り事相談窓口 相談者数 21人

(7) 普及啓発活動の推進

- ① センターでの入会説明会、イベント等の案内を市広報紙「市民のひろば」に毎月掲載したほか、地元の新聞や地域情報誌を活用し、記事の掲載、折り込みチラシなどの積極的な広報に努めました。

- ② ホームページをリニューアルし、求人やイベント等の情報をリアルタイムで発信するなど、タイムリーな広報宣伝に努めました。

③ 会員の多才な芸能や技能を活用し、福祉施設等を訪問する「ひまわり劇団」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪問活動が大きく制限されましたが、市民の皆さんに喜んでいただき、当センターの活動をアピールすることができました。

・活動状況 4月～3月 訪問回数 3回 訪問延べ会員数 8人

④ 当センターの事業等についての情報発信として、会報「かごしまシルバーだより」第75号（4月）、第76号（10月）を発行し、全会員へ送付しました。

また、「天保山通信」については、地域班長等へタイムリーな情報を提供するため5月に発行し、全会員へ送付しました。

⑤ センター活動の宣伝、啓発等を図るため、9月から10月に山形屋3階ブリッジギャラリー及び鹿児島市役所東別館1階市民ギャラリーで、会員46人・同好会（希楽会）の作品148点やセンター事業の概要等を展示、紹介しました。

⑥ 事業案内や就業拡大のため、センターの会報誌及びチラシを市役所、各支所、高齢者福祉センター及び各地域公民館など70施設に送付しました。

⑦ 各地域班において、清掃等のボランティア活動にのぼり旗を掲揚し、市民への啓発に努めました。

⑧ センターの定時総会開催及び会員増加数全国第一位に関する取材を受け、6月5日の南日本新聞に掲載されました。

⑨ 会員数の増加や派遣事業が拡大している当センターの取り組み状況について、愛知県シルバー人材センター連合会から依頼を受け、オンラインで意見交換を行いました。

《主な広報実績》

広告媒体	日付	部数等	記事内容
市民のひろば	4月1日	290,000	4月入会説明会案内
〃	5月1日	290,000	5月随時入会受付案内
〃	6月1日	290,000	6月の出前入会説明会
南日本新聞	6月12日	258,000	6月出前入会説明会
リビング新聞	6月13日	270,000	6月の出前入会説明会案内
市民のひろば	7月1日	290,000	7月の入会説明会案内
南日本新聞	7月21日	106,000	会員拡大・就業拡大（折込チラシ）
市民のひろば	8月1日	290,000	8月の出前入会説明会
リビング新聞	8月8日	270,000	8月の出前入会説明会
南日本新聞	8月20日	258,000	8月出前入会説明会
リビング新聞	8月22日	270,000	8～9月の入会キャンペーン
市民のひろば	9月1日	290,000	9月の出前お仕事相談会案内
リビング新聞	9月19日	270,000	9月の出前お仕事相談会
市民のひろば	10月1日	290,000	10～11月入会説明会案内
〃	10月1日	290,000	10月の出前入会案内会
南日本新聞	10月6日	8,000	10月入会案内会（吉野地区）（折込チラシ）
〃	10月22日	258,000	10月入会案内会（吉野地区）
市民のひろば	11月1日	290,000	12月の出前お仕事相談会
南日本新聞	11月13日	258,000	11月の出前入会説明会
〃	11月15日	258,000	11月の出前入会説明会
〃	11月17日	104,000	会員拡大・就業拡大（折込チラシ）
〃	11月18日	258,000	11月の出前入会説明会
リビング新聞	11月21日	270,000	12月の出前お仕事相談会
南日本新聞	11月24日	104,000	たすか～る隊案内（折込チラシ）
市民のひろば	12月1日	290,000	12月、1月の入会説明会
〃	1月1日	290,000	1月の入会説明会、女性限定入会説明会
南日本新聞	1月19日	258,000	1月の女性限定入会説明会
市民のひろば	2月1日	290,000	2月の入会案内会（谷山地区）
リビング新聞	2月6日	270,000	2月の入会案内会（谷山地区）
南日本新聞	2月8日	258,000	2月の入会案内会（谷山地区）
〃	2月19日	100,000	会員拡大・就業拡大（折込チラシ）
市民のひろば	3月1日	290,000	3月のほほえみサロン小物作り教室